

提案概要書

グループ名：ヤマタ鳥取砂丘ステーション

3施設を一体的に活用し、周辺の風致景観、自然環境との調和に配慮した自然を体感する複合施設に関する提案

(1) 事業計画の概要 (3施設の活用方法)

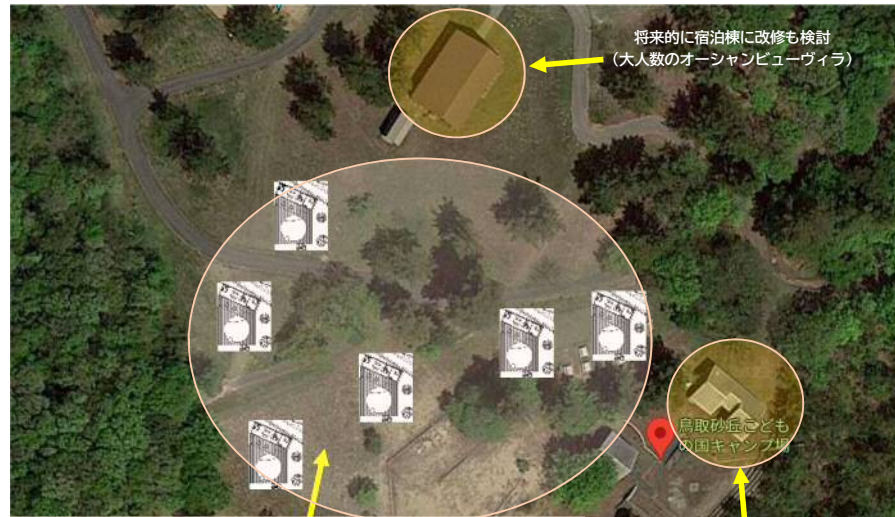
本事業の対象3施設は、下記のような活用方法を計画しております。

【本事業の対象3施設】	【活用方法】
こどもの国キャンプ場	⇒ グランピング施設
柳茶屋キャンプ場	⇒ フリーサイトのキャンプ場
サイクリングターミナル	⇒ 教育旅行・インバウンド対応宿泊施設及び他2施設の管理棟機能

一体的な運営を実現することで、高い生産性を確保。幅広い客層への対応を行います。

(2) こどもの国キャンプ場におけるグランピング計画 (6棟のドームテントで構成)

こどもの国キャンプ場は、幅広い客層を受けられるグランピング施設として、リニューアルいたします。下画像はドームテントの配置イメージです。(実際の配置場所は測量後に確定となります。)



オーシャンビューのドームテント (全室トイレ・エアコン付き)



清潔感のあるシャワーブースへ改修

(3) 柳茶屋キャンプ場の利用計画 (従来と大差ない運営で広報に努め、集客力をアップさせます)

下画像は実際の画像です。自然を傷めず、従来と大きな変更のない運営を計画しています。



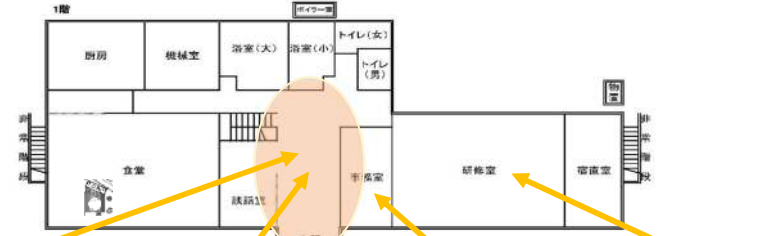
砂地で水はけもよく、無料のキャンプ場として人気。砂丘近くの穴場の魅力的なキャンプ場として告知活動を強化



最低限の維持費を徴収する低価格のキャンプ場として、従来通りに美しいクロマツの林を残す形で運営

(4) サイクリングターミナル砂丘の家の利用計画

- ① 1Fはキャンプ場とグランピングの管理棟を兼ねて効率的な運営を実施
- ② 2Fは廉価な宿泊施設として運営



売店機能
利用者の利便性を高めます



レンタル品コーナー
利用者の利便性を高めます



受付機能
3施設の受付機能を集約



研修室
会議備品を充実させます

- ③ 不具合箇所の無い状態での引渡し (貸付) が前提となります。

(5) 幅広い客層を呼び込む施設構成と役割

従来の利用者層を拡大するとともに、グランピングやキャンプ用品レンタルサービスなどにより、新しい客層を幅広く取り込める施設として、鳥取砂丘の観光振興における「ハブ施設」となることを目指します。キャンプはハードルが高いというシニア層や女性はサイクリングターミナルで宿泊、子供たちはキャンプ場といった複合施設の利点を活かせる運営方針を立案しました。既存利用者への配慮については、通常料金と割引料金との差額を鳥取県、鳥取市に補助いただくことが前提となります。

また、滞在時間の長さに比例して、観光消費額が伸長することはよく知られています。とりわけ宿泊機能を持つ施設が増加することが、観光消費額拡大には必要と言われており、そのような意味において、本施設が鳥取砂丘観光圏で果たす役割は、とても重要と認識しております。周辺に点在する土産物店や果樹園、各種観光施設へ宿泊客を送客する機能を構築し、鳥取砂丘の観光振興に貢献できる施設づくりを目指す方針です。

ただし、公益的な連携の推進については、鳥取県、鳥取市からの業務委託が前提となります。

ステイ+ステーション

「ヤマタ鳥取砂丘ステーション」

yamata tottori sand dunes staytion

～鳥取砂丘滞在のハブとなる自然体験型宿泊施設～

鳥取砂丘グランピング

GLAMP DOME 「砂優」 ～sayu～

グランドーム

(自然と触れる) 森の中で優雅に自然を体験

鳥取砂丘フリーサイトキャンプ

CAMP VILLAGE 「砂育」 ～saiku～

(自然と育む) 自然との共生を体験

鳥取砂丘ゲストハウス (兼 管理棟)

GUEST HOUSE 「砂縁」 ～saen～

(縁と出会う) 鳥取のフロント

鳥取砂丘近辺に滞在する為の基地・拠点となり、さらには鳥取観光の基地・拠点を目指します